

# 日本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局長

2024年2月中旬から4月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

平田 真教 総務部

### 1. 第5回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会開催について

2月15日(木)17時からWeb会議方式により第5回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会を開催しました。

第5回委員会では、実証事業は特区制度を活用し救急救命士の業務として実施することとして、事業のデザイン、倫理対応、MC協議会の参加要件、有害事象対応等を引き続き検討するとともに、アドレナリン投与デバイスについてはエピペン、プレフィルドシリンジの両方について、安全性、教育体制、オンラインMC医との連携等を検討しました。

### 2. 常任役員会開催について

2月26日(月)14時から財団会議室において、常任役員会を開催しました。

議題は、①令和5年度収支予算書(変更案)及び基本財産の取崩、②令和6年度事業計画及び収支予算書(案)、③第25回評議員会の開催、④電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の整備であり、その他報告事項と併せて審議しました。

### 3. 第26回理事会開催について

3月11日(月)14時10分からTKPカーデンシティ御茶ノ水において第26回理事会を開催しました。議長には、定款第37条により横田裕行理事長があたり、議事録署名人には、定款第44条第2項により出席した生田陽一監事、橋口博江監事があたることを確認しました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

#### <議題>

- (1) 令和5年度収支予算書(変更案)及び基本財産の取崩について
- (2) 令和6年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (3) 第25回評議員会の開催について
- (4) 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の整備について

#### <報告事項>

- (1) 評議員の選任について
- (2) 任期満了に伴う評議員の選任について

- (3) 理事長、副理事長、常務理事の選定について（報告）
- (4) 第27回理事会の招集について
- (5) 第47回救急救命士国家試験の応募状況について
- (6) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について
- (7) 「救急の日」のイベント終了について

#### 4. 第24回評議員会開催について

3月11日（月）16時からTKPカーデンシティ御茶ノ水において第24回評議員会を開催しました。

議長には、定款第20条により相川直樹評議員が互選され、議事録署名人には定款第27条第2項により有賀徹評議員と佐藤枢評議員が選出されました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

##### <議題>

- (1) 令和5年度収支予算書(変更案)及び基本財産の取崩について
- (2) 評議員の選任について

##### <報告事項>

- (1) 令和6年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (2) 第25回評議員会の開催について
- (3) 任期満了に伴う評議員の選任について
- (4) 理事長、副理事長、常務理事の選定について（報告）
- (5) 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の整備について
- (6) 第47回救急救命士国家試験の応募状況について
- (7) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について
- (8) 「救急の日」のイベント終了について

#### 5. 第6回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会開催について

3月19日（火）14時30分から東京ガーデンパレスにおいて、対面・Webによるハイブリット方式により第6回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会を開催しました。

第6回委員会では、最後の委員会としてこれまで検討してきた事項について、各担当が報告の骨子等を説明し、アドバイザー等から貴重な意見をいただきました。

これらの意見を踏まえ、各担当が報告書の修正等を行い、事務局が取りまとめたうえで3月末までに内閣府へ提出することとしました。

## 試験免許部門に関する報告

木村 伊智郎 試験免許部

### 1. 第47回救急救命士国家試験実施状況

3月10日（日）に全国5試験地（北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施しました。

受験申込者は3,391名で、そのうち3,330人が受験し、3,137人が合格しました。（合格率は94.2%）

合格者の発表は、3月29日（金）午後2時に厚生労働省及び財団のホームページに受験地、受験番号を掲示して発表するとともに、国家試験問題の正答肢を掲載しました。

また、受験者全員に成績通知書（合格者には合格証書）を郵送しました。

救急救命士名簿登録は、合格者の申請に基づき行われ、救急救命士免許証を交付することとなっています。

## 研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

### 1. AEDの内部データ利用・検証に関する作業部会（分析・検証）について

AEDの内部データ利用・検証に関する作業部会において、令和3年度に取り纏められた報告書に基づき、実際のAED使用事例の報告があった内部データの分析・検証体制の整備・実際に使用されたAED内部データの分析・検証を行うため、令和4年10月17日（第1回）から検討を行っており、令和6年3月26日に第8回同作業部会を開催しました。

同作業部会において、これまでにオートショックAED使用事例173例（うちショック事例12例）について検証を実施したことを踏まえ、「オートショックAED使用事例の検証結果について（中間報告）」（以下、中間報告書という。）を作成し、4月17日付で非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会 坂本哲也委員長に報告しました。

同中間報告書については、4月25日に厚生労働省、総務省消防庁、電子情報技術産業協会（JAITA）に情報提供するとともに、財団ホームページにも掲載しました。

オートショックAEDの使用事例については、今後も情報収集を進め、引き続き同作業部会において分析・検証を行う予定です。